山弓連

平成七年 第二号

関東選抜大会 称号で佐野(展)優勝／団体戦は8位

7月30日、前橋選手权と、全日本予選を兼ねて、大宮弓道場で開催。上位敬士八段のベテランから下は二段の新鋭まで関東各地から100人の精鋭が揃って的中と射技得点を争った。

◆全日本大会予選（関東代表決定戦）では、男子佐野選手が6射皆中を決めて有段者たちを驚かせたが、「弓取り給もし」の笑をとかわされて得点伸びず惜しくも予選落。女子の部、秋山選手は射技得点一位に輝きしたが「的中三中以上」という条件をみたすことが出来ずせっかくの高得点を生かすことが出来なかった。残念至極。

しかし両選手とも、「各地連（石）の経験で出場することが決定してからの各大会では、前年成績を上まわる優秀な成績で上位入賞するようガンバッテほしい。ご健斗を祈る。

◆関東選手権（関係各県の代表選手）は的中数の順位。（但し有段者同士）

地連	有級	的中	合計
東京 1	17	25	42
群馬	18	23	41
埼玉	16	24	40
東京 3	15	24	39
千葉	17	※19	36
茨城	15	15	30
神奈川	15	15	30
山梨	10	※18	28
東京 2	9	18	27
栃木	10	14	24

◆団体戦的中数（※は次負のり）

おめでとう

新八段 中沢利正さん　次の指導と弓道の発展を期待しています。

新教士 古屋達男さん　今回は、山梨に住まう八段、五月の京都で次位通過、七月の仙台審査会でみごと二段合格した。今度は三年八年という長い年月をかけずに、五年で八年という若さで、五年は三年八年という若さで、五年は三年八年という若さで、五年は三年